

ONE BRAND

✦ONE LOVE INTERVIEW

ほしのあき

高垣麗子

武藤静香

vol. 26

ゴ御
ー岳
!!山
へ



「御岳山」へ

「ミシュワン」三つ星!?

「みたけさん」



↑ミシュワンとは?
観光地としての高尾山に三つ星をつけたのがミシュワンなら、ある場所の犬のウェルカム度を星の数で評価するのがミシュワン!

Photo Junpei Harayama

春はおでかけにぴったりの季節! 街中のトググリンやカフェもいっぱい、
ちよっと足をのばして「犬連れフチ登山」もおすすすめ。
ルールやマナーを守れば、愛犬といっしょに登山ができる山がめずめず存在していたか?
今回スポットを当てたのは東京都青梅市にある御岳山なんです。
犬のウェルカム度を当てるのは東京都青梅市にある御岳山なんです。
まだ残雪が多いなか、編集部はミシュワン調査員をともない、
その真偽をたしかめるべく山中を分け入ってみました。
はてさて、調査の結果はいかに?

ミシュワン調査員
井上美佳さん

京都府生まれ、東京在住。愛玩動物飼養管理士で、
現在はドッグホリスティックケアアドバイザーの資格にも挑戦中。
「ONE LOVE ACTION! 第1期」の修了生でもあり、
犬の殺処分減少をめざし、
将来の良い飼い主を育てるため、地域の子供達への啓蒙活動などを行なっている。
同行の愛犬はゴールデンレトリバーのゆきちゃん(4歳メス)。
いずれは保護犬も飼う予定とか。
<http://ameblo.jp/marin820/>

犬ウェルカムというウワサの御岳山は「美しい日本の歴史的風土 準100選」

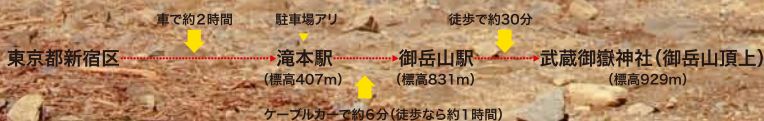
- 御岳山は「みたけさん」と読む。標高 929m の頂上には「おいぬさま」信仰の武蔵御嶽神社がある。
- 麓から登るには、徒歩も OK だが、滝本駅（標高 407m）から御岳山駅（831m）に通じる御岳登山鉄道のケーブルカーの利用が便利。
- 御岳山駅から神社までの道のりでは、天然記念物の神代ケヤキや四季折々の花、野鳥のさえずりといったゆたかな自然が楽しめるほか、歴史ある宿坊や茶屋が点在する独特の風情も堪能できる。
- 一帯は国立公園に指定されており、2007 年には「美しい日本の歴史的風土 準 100 選」にも選定
- なんととっても注目、山全体が犬連れにやさしいというウワサがあること！

ミシュワン調査員

松崎利恵さん ▶

神奈川県生まれ、東京在住。
ファミリードッグアドバイザーの資格もち、「ONE LOVE ACTION! 第1期」も修了。
犬の殺処分減少をめざし、地域で「いい飼い主を増やす」活動を展開中。
個人あずかりのシェルターでの手伝いや、セラピードッグ派遣の手伝いのボランティアも行っている。同行の愛犬はミニチュアピンシャーのフィルくん（4歳オス）

● 御岳山へのアクセス：東京都新宿区内発の道のり



いただきました、星三つ！ 交通よし、環境よし、人よしの御岳山。

みたけさん

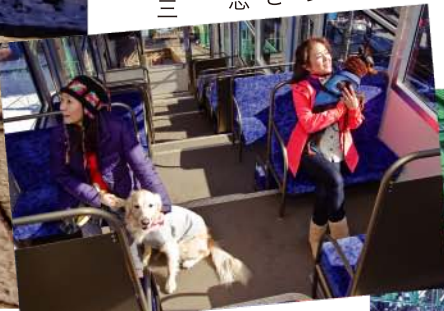
まず最初にビックリしたのは、山頂近くまでいくケーブルカーにペット料金が設定されていたこと。券売機には、かわいい犬マークのボタンがしっかりとついていた。ミシュワン調査員の井上さんと松崎さんは、へえ、普通に犬も乗車できるんだあ」と、そろって大感激。

もう、この時点で星二つの評価！

その後、ケーブルカーに乗って御岳山駅に到着した二人と愛犬たち。遠くに新宿高層ビル群などが見渡せる絶景を眺めながら、舗装された道をゆつくり30分以上かけて登っていった。そして着いたのは、御岳山頂上にある「おいぬさま」信仰の武蔵御嶽神社。なんと、拝殿まで犬連れOK。犬といっしょに参拝できる神社ってはじめで」とはしゃぐ二人は、絵馬（絵犬？）に家族と愛犬の健康を祈ったりしながら大満足の神聖タイムを過ごすことだ。

ここで、二つ目の星が点灯！

参拝を済ませた二人は、はじめての登山に喜々とする二匹を連れて、しばらく周辺の山道を散策。そのとき見つけた長尾平という気持ちのいい広場でランチを楽しむつもりだったが、まだ残雪が多くてちよつとムリそう……。仕方なく参道までもどって探索してみたところ、ペット連れ大歓迎でお弁当もち込みもOKという張り紙がされている茶屋『宝亭本店』を発見。二人と愛犬たちは、そこでたつぶり1時間以上のランチタイムを満喫することとなった。お店をでた二人は「大正時代からつづく老舗なのに、犬もウェルカムという姿勢がうれしい。83歳の女将さんのやさしさと、名物のみそおでんの美味しさが忘れられません。御岳山サイコー」というわけで、いただきました、星三つ！



★ 犬連れで参拝ができる武蔵御嶽神社

古くより関東一の霊山として信仰されてきた武蔵御嶽神社の狛犬は、獅子ではなくて「おいぬさま」。神主の一人である下田利夫さんに理由を聞くと、「ヤマトタケルノミコトが東征の際にこの山で迷っていたところを、白と黒色のオオカミが現れて、それを救ったとされる神話が残っている。それで『おいぬさま』が副祭神となっているんです」と語ってくれた。だから、神社は犬にも寛容。拝殿までは犬を連れての参拝がOKとなっている！「みなさん、マナーがいいですね。フンが落ちているのを見たことがありません」と下田さんも嬉しそう。 <http://musashimitakejinja.jp/>



★ 犬の乗車がOKの御岳登山鉄道ケーブルカー

1934年(昭和9年)開業のケーブルカー。滝本駅長の原島一臣さんによると、「『おいぬさま』の山ということのほかに、ペット連れの観光客の利便も考えて、数十年前からペットの乗車がOK」とのこと。当初は中・大型犬は子ども料金(片道290円)で、ケージに入れた小型犬は無料としていたが、2009年3月に一律片道120円とした。以来、犬連れ客が急増。ハイシーズンで月に200~300組の乗車があるという。なお、これまで目立ったトラブルは皆無。「良識あるご乗車、まことにありがとうございます」と原島さんにもっこり。

<http://www.mitaketozan.co.jp/>



登山経験が豊富な人は、 周辺の山道にもチャレンジを!

御岳山周辺には、さまざまなハイキングコースがある。今回、編集部のスタッフ数名は、犬を連れなくて、「七代の滝」までのコースにチャレンジしてみた。狭くて急な山道がつづき、予想通り息もたえだえとなったわけだが、たどり着いた滝はご覧のとおり超ビューティフル!

登山家の伊藤フミヒロさん(次ページ登場)によると、人が余裕をもって歩けるコースなら犬を連れてでも大丈夫ということらしいが、編集部の感想ではこのコースでの犬連れは、登山経験がすごく豊富な方だけにオススメという感じ。



レンジャーからのお願い 「ノーリードはやめてください」

御岳山で出会った東京都レンジャー(東京都自然保護員)の山本裕全さん(左)、三好和貴さん(中央)、遠藤絵実さん(右)から、犬連れ登山をする人々へのメッセージをもらった。「みなさん全般的にマナーがよくて、私たちも好印象をもっています。ただ、たまにノーリードで山道をいく人を見掛けることもある。犬が嫌いな人への配慮はもちろん、野生動物へのさまざまな影響も考慮し、リードを付けることは忘れずをお願いします!」



★ 犬といっしょに休憩できる宝亭本店

創業1921年(大正10年)。女将の馬場セキさんは、戦後もここに嫁ぎ、以来63年にわたって店を切り盛りしている。ペットの入店をOKにしたのは、昨年の秋のこと。「ここ1年で犬を連れて登山する方が急に増えた。話を聞けば、みなさん犬といっしょに休めるお店を探していらっしゃる事がわかった。それで、ペットもどうぞということにしたんです。さすがに満席のときはご遠慮願うこともありますけど、平日などの空いているときはいつでも大丈夫。私自身、犬が大好きですから、大歓迎ですよ」なお、弁当もち込みもOKだが、名物のみそおでんはぜひ味わっておきたいところ。

http://mitakesan.com/syouten/takaratei_honten/



※犬といっしょの際はルールを守って利用しましょう。

愛犬との登山は素晴らしい。 だからこそルールとマナーを大切に！

伊藤フミヒロさん ● 登山家・パウダーガイド代表



愛犬の太郎と那須登山(撮影:町田健一)

愛犬と100回登山

僕は4歳になる甲斐犬の太郎と、これまで100回ほどハイキングや登山を楽しんできました。関東近辺の低い山々はもちろん、八ヶ岳、富士山といったけっこう高い山にまでいっしょに登ったことがあります。

なぜ、犬とともに山に登るのかというと、動機はすごく単純です。そもそも僕が登山家で山が大好きというのもあるのですが、愛犬家として、山で太郎が嬉しそうにする姿を見て楽しみたいという思いが強かったりもするのです。

なにしろ彼は、もとをたどれば山を駆け回ったオオカミに近い存在。山に入ると、その本能が花開くかのようになり、じつに洩刺とした表情で機敏に行動しはじめます。街中では決して見られないそんな命の輝きの瞬間に接すると、飼い主である僕は、無性に大きな喜びを感じてしまうのです。

守りたい7のルール

もちろん世の中に、山に犬を連れて行くことの賛否両論があることは十分に認識しています。そして、否定論の主なものとして、自然環境保全や犬が苦手な登山家への配慮が挙げられていることも理解しています。僕は、犬の登山が法律で規制されていないという事実を知りつつ

も、そうした意見には謙虚に耳を傾ける必要性があると感じています。

ちなみに僕は、『日本アウトドア犬協会』のホームページに掲載されている山歩きのリールとマナーに従って、太郎と山登りをするようにしています。右に示しているのは、それを自分なりに7つ整理したものです。いままでの経験上、このルールを守った登山において、人から注意を受けたたり、疎まれたりしたことは一度もありません。

どうかみなさんも、こうした基本的なことに気をつけながら、より快適な犬との登山をお楽しみください。

楽しい登山5つのコツ

ルール以外にも、僕はこれまでの経験に基づき、犬を連れ登山するときの具体的な注意点やうまくいくコツなどをいくつか念頭に入れていきます。それらも右に列記しておきますので、どうぞ参考にしてみてください。

なお、『ONE BRAND』の読者のみなさんへ、おそらく登山初心者の方が多いだらうと思います。安全の

ECOLOGY	
■7つのルール	
1.	最低限のしつけとコントロール(リード必須)
2.	犬が苦手な人がいることに留意
3.	自然環境への配慮
4.	山行前の万全な準備(犬・人・持ち物)
5.	無理のないコース選び
6.	山道での犬のポジションに注意
7.	犬への配慮(虫対策、帰宅後の健康チェック)
■5つのコツ	
1.	人気の山での登山は避ける(休日も避ける)
2.	狭い山道。登りは犬が前、下りは犬が後ろ
3.	野生の動物と遭遇すると犬が興奮するので注意
4.	安易に川の水やわき水を飲ませない(水筒持参)
5.	犬の格好にも気を配る(例えば、ドッグバックを装着させると登山犬に見え、ほかの登山家の理解が得られやすい。もち帰るフンを背負わせることもできる)



山登りのときには携帯水ボウル持参がオススメ(左)。フンのもち帰りはもちろん、おしっこ後は水かけも(右)



いとうふみひろ ● 1949年長野県生まれ。法政大学卒業後に山と溪谷社に入社し、30代で雑誌『山と溪谷』の編集長を経験。現在は山関係の書籍などを出版をするパウダーガイド社の代表を務めている。登山家でもあり、高校時代から国内外の山を数多く登攀。近著に『登ってわかる富士山の魅力』(ショウデン新書)がある。
<http://www.pgguide.jp/>

ONE LOVEプロジェクトは

犬の殺処分をなくし、 人と犬との明るい未来をつくる プロジェクトです



人と犬がもっと豊かに暮らせる社会をめざしている
ONE BRANDでは、1頭でも多くの犬の命を救うために、
2008年より動物保護団体への寄付、情報発信による啓発、
保護犬の譲渡支援を行なう「ONE LOVEプロジェクト」を
実施しています。ONE LOVEプロジェクトは、
「できることから始めよう!」をモットーに、
犬を愛するみなさんに参加いただくことで、
幸せな犬たちを増やしています。



87,119

頭

保健所に收容される 犬の数

(平成 22年環境省発表)

【收容される理由】

- 捨てられた犬や迷子犬を保護
- 無責任な飼い主の飼育放棄による持ち込み
- 動物取扱業者による持ち込み

61

%

殺処分される 犬のパーセントと数

- 元の飼い主のもとに戻れなかった犬
- 動物保護団体にレスキューされなかった犬
- 新しい飼い主に譲渡されなかった犬

53,268

頭



殺処分される犬を減らすためには、
保健所に收容された犬を引き取り新しい飼い主を探している、
動物保護団体を支援していくこと。
そして、「犬を飼おう」と考えた時に
「保護犬」を選択する人を増やすために、認知を広める必要があります。

今すぐ、できることから始めませんか？

今すぐ参加できる寄付・啓発・支援



- ONE LOVEサポーター会費
- ONE LOVEグッズの売上
- 協賛企業・賛同者からの寄付金から毎月、動物保護団体に寄付しています。



ONE LOVEプロジェクト事務局



動物保護団体
12団体
(2012年12月現在)



ONE LOVE
プロジェクト
啓発活動費

ONE LOVE プロジェクトでは、一定の審査を行なった信頼のおける動物保護団体に、長期にわたり定期的に行える寄付支援をしています。

誰でもできる 月1,000円からのサポート

～ ONE LOVEサポーター～

保護犬をレスキューする動物保護団体への寄付や、犬たちが置かれた現状をより多くの方々へ啓発していく活動を支援して下さる「ONE LOVEサポーター」を募集しています。あなたもできることから始めませんか？

●サポーターには・・・

- ①『ONE BRAND』マガジンを奇数月にお届け
- ②サポーター会報誌を偶数月にお届け
- ③ONE LOVE会員カードの発行
- ④ONE LOVEメールマガジン配信



ONE LOVEサポーターへのお申し込み、お問合せ

<http://www.onelove.cc>

☎03-5575-2363

※サポーター会費は1,000円から金額を選べます。
※現会員も金額の変更ができます。



携帯はこちら

お買い物でも サポートできます！

ONE BRAND Shopping (WEB) 内の全ての商品は、売上の一部が動物保護団体への寄付になります。

1頭でも多くの犬たちを救うために、楽しいショッピングは、ぜひONE BRAND Shoppingで！



迷子札

<http://www.obshopping.jp/>

☎03-5575-2363 10:00～17:00(土日、祝日を除く)



携帯はこちら

ONE LOVEプロジェクト 寄付先団体 (50音順)

※2012年12月末
現在

- NPO法人 ARK (アニマルレフュージ関西)
<http://www.arkbark.net/>
- 石川ドッグレスキュー
<http://dogrescuejp.net/>
- NPO法人 しっぽのなかま
<http://shippononakama.kuronowish.com/>
- ちばわん
<http://animal-note.cool.ne.jp/>
- 動物いのちの会いわて
<http://www.inochinokai.com/>
- Dog Shelter (ドッグシェルター)
<http://dogshelter.jp/>
- NPO法人 日本動物生命尊重の会
<http://www.npo-alis.org/>
- Happy Labs (ハッピーラブズ)
<http://www.happylabs.jp/>
- PAK (Paws Adoption かながわ) 保健所の犬・猫を救う会
<http://homepage3.nifty.com/nazozen/>
- NPO法人 ペット里親会
<http://petsatooyakai.web.fc2.com/>
- NPO法人 保健所の成犬・猫の譲渡を推進する会
<http://npo.seiken-joto.org/>
- NPO法人 Wonderful Dogs
<http://www.wonderful-dogs.com/>

4,653,518円

(2012年1月～11月)

これまでの寄付金総額

27,049,937円

(2008年4月22日～2012年11月末現在の累計)

寄付金の詳細については、ONE LOVEサイト内「寄付金の報告 donations report」をご覧ください。

<http://www.onelove.cc/>

ONE BRAND vol. **26**